

全国若手議員の会第26代会長

44歳 4期16年



松戸市議会議員

杉山よしひろ

絆と突破力・未来への投資と責任

コロナ禍からの復興と、子ども達の安全安心を守るため、私が生まれた育った故郷・松戸の地域の絆が今まで以上に必要とされています。
そして、停滞する街づくりを進め市民目線で真の暮らし満足度ナンバーワンを目指すためには、市政に若さと突破力が必要です。子育て支援の更なる拡充、未来への投資として「教育」が重要です。介護・障がい福祉など社会保障の充実のためにも、責任ある持続可能な街づくりが欠かせません。
市役所の建て替えが議論されていますが、私はデジタル化時代の新しい松戸市像として市民が市役所本庁舎まで足を運ばなくても、書類の申請だけならネット上で、操作が難しい方や複雑な相談は、徒歩や自転車で行ける範囲の支所や地域施設で完結できるデジタル化基盤の整備を提案しています。
防災とコミュニティの中心となる学校誰もが遊べる・集える・働ける公園やオープンスペースを核とした街づくり、それら拠点に至るまで誰もが移動できる交通手段の充実で「地域完結型都市」の実現を目指します。
これらを着実に実行することが、松戸市が人口減少時代にも選ばれ続けるために必要不可欠なものであり、次世代に良い街を引き継ぐための我々世代の責任です。

杉山由祥

松戸から世界へ
人への投資。
子育て・教育支援

人への投資、全世代の学び・チャレンジを支援するまち松戸
学校リニューアル、デジタル人材育成、不妊治療、障がい児対策、先端技術で子ども達の安全と孤立の見守り、都市型スポーツ推進、誰もが学び直せる教育、持続可能な学校給食。

「安心」「元気」に
「いつまでも」
well-being・松戸

支所・地域施設を充実、地域完結型の暮らしやすいまち松戸
8支所、図書館、地域施設を充実させ本庁舎に行かなくて済むような公共施設の再編。簡素な行政手続きでみんなの時間を大切にすまち。新しい焼却施設の建設議論を契機に、ゴミ分別の簡素化や収集方法の見直しで市民・地域の負担軽減。

コロナ禍からの
復興、
にぎわい・街づくり

今こそ新松戸に快速を止めよう!空港直結のまち松戸
2027年・常磐線快速列車の羽田空港乗り入れ、2028年・新松戸駅東側の街開きを見据えて、新松戸駅への快速停車の実現、新拠点ゾーン整備をはじめ松戸駅周辺の活性化、JR武蔵野線沿線の新しい街や、北千葉道路沿いへの新産業誘致など国・県と歩調を合わせて成長戦略を取り込む街づくり。

私たちも応援します!!



元復興大臣 衆議院議員
渡辺 博道



元農林水産大臣 衆議院議員
さいとう 健



TEPPEN GYM 会長
那須川 弘幸



自由民主党 千葉県支部連合会 幹事長
千葉県議会議員
河上 茂



明治大学名誉教授
元東京都副知事
東京都農業会議 会長
青山 やすし



全日本剣道道場連盟 副会長
全日本高齢剣友会 会長
松風館道場 範士八段
岩立 三郎

杉山よしひろプロフィール

全国若手議員の会 第26代会長 建設経済常任委員会 松戸市都市計画審議委員
自民党松戸市支部初代青年局長 松戸青年会議所OB会 松戸市消防団 危機管理士®2級
松戸自衛隊協力会松戸支部顧問 松戸スケートボード協会相談役 那須川天心後援会「新頂会」

生年月日 昭和53年10月11日(松戸市生まれ)

新松戸南小学校・新松戸北中学校卒業

- 平成 9年 千葉県立小金高等学校 卒業
平成14年 駒澤大学経済学部経済学科 卒業
平成16年 行政書士試験合格
平成16年~18年 渡辺博道 衆議院議員秘書
平成18年 松戸市議会議員 初当選 以降、4期連続当選
平成29年 明治大学公共政策大学院 ガバナンス研究科修士 公共政策修士
平成30年~令和元年 第68代松戸市議会 副議長
令和3年 ~令和4年 全国若手議員の会 第26代会長



市政報告特別号討議資料

杉山よしひろ後援会事務所
〒270-0034 松戸市新松戸4-129 せきぐち第五ビル101
TEL:047-344-7841 FAX:047-344-7847



杉山が想い描く Matsudo's Future (M)

松戸市のビジョン

「安心」「元気」に「いつまでも」well-being・松戸

- 1 徒歩や自転車等の移動範囲で生活が完結
「15分生活圏都市」の街づくりを推進。
- 2 見守りアプリ開発等で誰もが安心して移動できるウォークアブルな街づくり。
- 3 データ活用による効果的な介護や予防医療等の実現。

松戸から世界へ、 人への投資。 子育て・教育支援

- 1 老朽化した学校をリニューアル、統廃合や地域施設との複合化効率化、地域全体で支える教育の場に。
- 2 スクールバスの導入と民間プールの活用。
- 3 市独自の給付型奨学金、STEAM教育導入のため、民間からの資金調達でファンド設立。
- 4 VUCAの時代・AI社会への対応、新しい価値の創造力と課題設定能力の向上のため、各界専門家が参画する学校運営。
- 5 子供達に地産産の美味しい給食を。学校給食費無償化の動きを見据え、インフレ不況対策で給食費の一部補助。
- 6 全ての学習端末に「子どもSOSフォーム」を導入、いじめや家庭内の悩み等いつでも受け止める体制の整備。
- 7 児童虐待対策、新設の県児童相談所や警察、家庭・教育関係機関と連携強化。
- 8 廃止方針の県西部図書館を引き受け、図書館本館・地域館の整備とあわせて知の拠点整備。
- 9 東京五輪大会のレガシー、スケボー等の都市型スポーツの推進。



コロナ禍からの復興、 にぎわい・街づくり

- 1 新拠点ゾーンは公共施設再編の種地として活用し、文化・教育・にぎわいを生む民間主体の開発で財源と税収を確保。
- 2 公共施設再編で全体の維持コスト3割削減を目指す。効果的な公有財産マネジメント。
- 3 矢切地区に緑と調和した都市型スポーツの拠点整備。
- 4 JR武蔵野線沿線を松戸市の新たな成長軸に。新松戸駅、常磐線快速列車の停車を実現、千駄堀新駅(仮称)建設、東部地区の市街地拡大と北千葉道路沿線に新産業用地を確保。
- 5 民間の知恵を活かしたPark-PFI導入、防災やイベント等により市民が使いやすい公園を核にした街づくり、公園未整備地区の解消。
- 6 心の復興、地域の祭りやイベントの再開を支援。松戸名物イベントの創造。
- 7 地域電力会社設立などエネルギーの地産地消、持続可能な地域循環型社会の構築。
- 8 新たな名物を生み出す、都市農業の推進。
- 9 いつでもどこでもつながる働ける、安全無料Wi-Fiスポットとコワーキングスペース整備。